

2026 年 10 月 14 日

各位

株式会社ポータス
代表取締役社長 栗林 周次

当社サーバーへの不正アクセスによる情報漏えいの可能性に関するお知らせとお詫び（第3報）

2026 年 8 月 31 日付および 9 月 2 日付でお知らせいたしました通り、当社におきまして第三者による不正アクセスおよびランサムウェア被害が発生いたしました。

外部専門機関および警察と連携のうえ、ログの解析および影響範囲の特定を進めておりますが、現時点で外部流出の事実は確認されていないものの、流出の可能性を完全には否定できない状況であることが判明いたしました。

お取引先様をはじめ、関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。現時点で判明している事実および今後の対応につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. これまでの経緯と現在の状況

当社は 2026 年 8 月 29 日早朝に社内サーバーにおいてデータ暗号化被害を確認後(8 月 31 日第一報公表)、直ちに該当サーバーをネットワークから切り離すとともに、影響範囲の調査を実施し、お客様からお預かりしているサーバーおよびシステムへの影響がないことを確認いたしました(9 月 2 日続報公表)。

また、警察への相談および外部専門機関によるフォレンジック調査を開始し、現在も継続しております。

2. 情報漏えいのおそれについて

外部専門機関による詳細な調査の結果、社内サーバーにおいて、第三者による不正アクセスの痕跡が確認されました。

漏えいのおそれがある情報には個人情報を含む各種情報が含まれており、対象データおよび影響範囲の特定を進めております。

外部専門機関と連携し、継続的な監視・調査を実施しておりますが、現時点の調査では、ダークウェブ等への情報掲載その他の不正流通を示す事実は確認されておられません。

3. 関係者の皆様へのお願い(二次被害防止)

流出の可能性が否定できない情報につきましても、引き続き調査を行ってまいります。

皆様におかれましては、当社や公的機関、金融機関などを装った不審な電話、封書、電子メール(フィッシングメール)等には十分ご注意ください。不審な URL のクリックや、個人情報・パスワード等の入力・提供は絶対に行わないよう重ねてお願い申し上げます。

4. 今後の見通しと対応方針

- ・ 調査および影響範囲の特定

外部専門機関によるデータ解析を引き続き進めるとともに、対象データおよび影響範囲の特定に取り組んでまいります。

- ・ 再発防止策の策定

調査結果を踏まえ、システムセキュリティの抜本的な再構築と管理体制の強化を実施いたします。新たに公表すべき重要事実が判明した場合は速やかに開示するとともに、全容解明後に再発防止策を取りまとめ、改めて公表いたします。

以上